

競技注意事項

1 規則について

- 1) 本競技会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技規則及び国内広告規定により実施する。

2 アスリートビブスについて

アスリートビブスは主催者が 2 枚用意する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。大会当日、各団体の代表者が、TIC へ受け取りに来ること。ただし、跳躍競技者は胸のみの着用で良い。トラック種目出場者は主催者が用意する写真判定用腰ナンバー標識(競技終了後回収)をパンツの右下やや後方に付ける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。

3 競技者の招集について

1) トラック種目

1 次招集 : 各種目の競技開始 80 分前に開始し、競技開始 60 分前までに、招集所(本部横)にて行う。その際に、腰ナンバー標識を配布する。リレー種目は、オーダー用紙(TICに用意)を記入の上、当該種目の 1 次招集完了時刻の 30 分前までに、TIC へ提出すること(メンバーについては競技規則 TR24.10 を参照のこと)。

※リレーの1次招集は4人揃ってから来ること。ユニフォームのチェックも同時に行う。

最終コール : 競技開始 10 分前に各種目スタート地点にて、アスリートビブスの付いたユニフォーム、腰ナンバー標識を着用した状態で行う。

2) フィールド種目

1 次招集 : なし

最終コール : 招集は競技開始 30 分前に各競技実施場所にて、アスリートビブスの付いたユニフォームを着用した状態で行う。

- 3) 2 種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が「重複出場届」を本部横のTIC から受け取り、招集を受けることができない種目の 1 次招集完了時刻までにTIC に提出すること。
- 4) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したもとして処理する。

4 欠場について (対校・OP共通)

- 1) やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で欠場届を提出する。欠場は番組編成に影響することがあるため、欠場が決まり次第すぐに提出すること。
- 2) 大会前日までに棄権が決まっている場合は、メールにて、Word で作成した欠場届を提出すること。
- 3) 大会当日に欠場が決まった場合は、本部横のTIC から欠場届を受け取り、各競技開始時刻の 60 分前までにTIC に提出すること。

5 フィールド競技について

- 1) 試技順は、プログラム記載順とする。
- 2) 対校種目とOP種目が実施される競技については、対校種目とOP種目を同時に行い、試技順は対校種目の次にOP種目を行う。
- 3) 投てき競技、跳躍競技(走高跳、棒高跳を除く)の試技数は次の通りとする。対校種目については、全員 3 回の試技を行い、上位 8 名が記録順にさらに 3 回の試技を行って順位を決定する。出場選手が 8 名以下の場合は、出場選手全員が 6 回の試技を行って順位を決定する。ただし、OP種目については、試技の回数は 3 回とする。

- 4) 三段跳の踏切板の位置は、砂場に近い方の端から男子 12m、女子 10mとする。
- 5) 競技開始 45 分前から練習を可能とする。但し、走幅跳、三段跳の練習跳躍は一人2回までとする。
- 6) 走高跳のバーの上げ方は以下の表の通りとする(ただし、天候等の状況により変更することもある)。
- 7) 棒高跳のバーの初めの高さは選手の話し合いによって決定する。以降は10cm刻みで上げる。

走高跳	—	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは3cm 刻みとする
	男子	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	
	女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	

6 トラック競技について

- 1) トラック競技の計時は、すべて電気計時(1/100 秒)を用いて行う。
- 2) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。エントリーが 6 名以下の場合、1 レーンを空ける。
- 3) 同成績による次ラウンド選出者の選定は競技規則 TR21 により行う。
- 4) 本大会で使用するシューズについて、靴底の厚さについてはTR5 及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。World Athletics (WA) が承認したシューズリストで No と記載されている靴については使用ができないので、各自で確認しておくこと。<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
- 5) 単独で通信機能を持つスマートウォッチ等の使用を禁止とする。

7 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具(棒高跳用のポール、やりを除く)は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。
- 2) 持ち込みのやりに関しては、検定を受け、合格したものに限り使用できる。検定は、招集完了時刻 90 分前から 60 分前までとし、本部にて行う。なお、破損については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みのやりは競技終了後、検定実施場所にて返却する。

8 正選手の入替えについて

- 1) 補欠は男子 2 人、女子 1 人とする。
- 2) 期限は 3 日前の 9 月 26 日(木)とし、この日までに、メール(keiodoshisha2024@gmail.com)にて、その旨を伝えること。その際、入替えの理由を必ず明記すること。期限後の正選手入替えは認めない。
- 3) 正選手入替えの理由は怪我の他、選手の不調による変更等も認めることとする。
- 4) リレー種目に関して、交代が可能な基準は「対校種目に出場した(出場する)選手及び補欠」に限定する。

9 対校種目の得点について

- 1) 対校得点は、男女とも各種目 1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点とする。
- 2) 男女ともに優勝校は最多得点校1校とし、同点の場合は、男子は4 × 200mR、女子は4 × 100mRの勝利校を優勝校とする。

10 各種書類について

欠場届、重複出場届、リレーオーダー用紙、記録証明書、領収書の配布場所、提出先、依頼先などは全て本部横のTICとする。
記録証明書の発行を希望する場合は、大会本部 に申し出ること。料金は 1 枚 200 円とする。

11 競技結果について

競技場内トイレ横に速報結果を貼り付ける。

12 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。

13 その他

- 1) 2024 年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について特に注意すること。
- 2) 競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリアに持ち込むではない。
- 3) スパイクを履いたままコンクリートの上を歩くことを禁止する。
- 4) 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。
- 5) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行う。
- 6) 緊急車両の手配について、救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 7) 慶應義塾大学日吉陸上競技場開門及び閉門時刻について（開場）7 時 00 分（閉場）17 時 00 分とする。
- 8) 競技運営上の諸問題は大会総務、競技規則上の諸問題は審判長が決定する。
- 9) その他、不明の点は大会本部に問い合わせること。

